

加佐

学校教育目標

『仲間とともに 夢と希望をはぐくみ 学びあい 認めあい 鍛えあう生徒の育成』

学校だより 4月号
平成30年4月10日
舞鶴市立加佐中学校
TEL 83-0004 FAX 83-3201



E-mail kasa-jhs@kyoto-be.ne.jp



地域の希望である子どもたちに洞察力を！

春風^{たいとう}駘蕩たる穏やかな日を迎え、保護者及び地域の皆様には、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。本年度も本校教育の推進に向け、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

入学式で元気溢れる新一年生23名を加え、本年度の加佐中学校の活動がスタートしました。一年生の卒業時は、加佐中学校にとって節目の

統合10周年を迎えます。その時を見据え、新たな文化を刻むべく全教職員一丸となって教育活動に取り組みます。学校教育目標は、開校以来同じで、上記に掲げています。教育の目的である人格の完成、また将来の夢の実現を図るために全力で生徒をサポートします。本校が目指す生徒像は、右記の通りですが、キーワードは“洞察力”です。世の中が、互いに複雑に絡み合いながら高度に情報化された現代社会において、その中に隠れている真実は、捉えにくくなっています。インプットとアウトプットの間に、完全なブラックボックスで、その途中は知るよしもない状況も多いです。自分に大きな影響を与えることが、いきなり訪れるかもしてません。ですから、物事の本質やその中に潜んでいる真実を見極める“洞察力”が求められます。“洞察力”により、本質や真実をつかめば、問題点も明らかになり、自ずとそれは解決への行動へと結びつきます。

本校が目指す生徒像

知；真面目に考え洞察力のある子
徳；思いやりを持って助け合う子
体；健康でたくましく行動する子

少子高齢化等を抱えながら将来の加佐地域の在るべき姿を考え託せるのは、加佐地域に住む今の子ども達です。将来、加佐地域を任せるための力として“洞察力”を育てるべく学校・地域で子ども達を温かく包み込まなければなりません。

好ましい人間関係づくりの面からもコラボ学習を推し進めます！



今年度、3～4人でグループを作り、互いに教え合う学習を“コラボ学習”と呼び、本校で力を入れます。学習は、教員からの説明を聞くだけより、自らも活動する方が学力が付きます。特に、自らが主体的に対話を通して学ぶのが、効果的です。“コラボ学習”では、分からない点を「分からないので教えて！」と言えなくてはなりません。教える側も分かっていると思っても改めて教えることで、自分の理解を更に深められます。生徒が、それぞれの理解度に応じて互いに協働して学び合うのが“コラボ学習”の目指す所です。実は、この学習にはもう一つのねらいがあります。問題が解ける者が偉くて解けない者が駄目ではなく、何事もできるできないだけで、人の上下関係が決まるわけではありません。“コラボ学習”を通して互いに教え合う中で、互いに認め合えれば、好ましい人間関係が芽生えるのではと願っています。



校長 山口 茂
教職員一同